

---

# ノアの箱舟

鳥尾

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ノアの箱舟

### 【コード】

N0675C

### 【作者名】

鳥尾

### 【あらすじ】

地球を綺麗にしようと色々人類は考えた。しかしいい考えが浮かばず神に相談することにした。翌日神から小さな箱舟が届けられた。

「地球にやさしく」

を合言葉に世界中で環境問題について真剣に語り合い、そしてありとあらゆる取り組みが行われた。しかし人類の努力も空しく地球環境はドンドン悪化していった。万策尽き果てた人類は非科学的なことを認めない学者を説き伏せ

「神」

に相談することにした。

「どうやったら昔のような綺麗な地球に戻すことが出来るのでしょうか？」

神は答えた。

「そんな事は簡単だ」

翌日、人類の元に神からちっぽけな「箱舟」が届けられた。

「なんだ？ この舟は？」 学者は首をひねったがなかなか結論は出なかった。いちぶの信仰心のあつい人々からは

「これは『ノアの箱舟』じゃないのかこれに？ 乗れという意味じゃないのか？」

という意見も出たが

「まさか月に人類が行く時代にそんな事はないだろう？」  
と学者によってその意見は削除された。

そしてその一週間後、突然人類を大洪水が襲った！ 地球は一瞬で元通り綺麗な水の惑星になった。その水面をプカプカと木の葉のような”あの”

「箱舟」

が浮かんでいた。その舟には誰が書いたのか小さな文字で

「ノア」

と絶望的に書いてあった。しばらくすると、たったひとり

「箱舟」

に乗ったヒゲヅラの男が窓を開けキヨロキヨロと外を眺め始めた。  
「どうやら助かったのは俺だけのようだな」

男はしばらく海を眺めていたが、やがてシヨンボリと窓を閉めた。  
「やれやれ……せっかく『箱舟』をやったのに誰も乗らないとは…

…」

そう言つとガランとした船内で神はひとりため息をついた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0675c/>

---

ノアの箱舟

2010年10月14日06時51分発行